

～全シーズン活用可能。一人ひとりの取り組みが鳥獣を寄せ付けない地域環境をつくります～

クマ・イノシシ被害防止に向けた地域の点検チェックシート

No	点検項目	チェック	備 考
1	野菜や果物、食べ物の残さや生ごみなどが屋外（庭、畑など）やオープンガレージに置いたままになっていませんか？		（チェック欄が○の場合・・・） ●野菜や果物などの食料品は屋内に保管を！（戸締りを確実に！） ●食べ物の残さや収穫しない野菜、生ごみは早めに処理を！ ●果樹から落下した果実は放置せず、確実に処分を！ ●お墓のお供え物もエサになります。お参り後は、なるべく持ち帰ってください。 ●揮発（きはつ）性物質はクマを誘引します。灯油等の保管場所にも注意を！ ●ハチの巣を狙いクマが民家に侵入した事例もあります。あれば早めの駆除を！
2	耕作されていない田畑や集落周辺にあるヤブや雑木は、刈り払いを終え、見通しが良くなっていますか？		（チェック欄が×の場合・・・） ●ヤブや雑木が「ひそみ場」となり、人とクマやイノシシの距離を縮めます。早めの刈り払いを！ → <u>市の「鳥獣緩衝帯整備事業補助金」が活用できます。</u> <u>（別紙「ご活用ください！市の補助制度&防災情報」を参照ください）</u> ●稲刈り後の「二番穂」はイノシシを誘引します。生えてきたら早めの刈り取りを！
3	クマが出没しやすい早朝・夕方に活動することがありますか？		（チェック欄が○の場合・・・） ●やむを得ず早朝・夕方に活動する必要がある場合は、クマ鈴やラジオなど、音の出るものを身に付けましょう。活動中はこまめに周囲の確認を。 ●ヤブ付近や林の中など、クマが潜んでいそうな場所には近づかない。 ●上記対策を取ったうえで、できるだけ複数人で活動しましょう。
4	庭や集落内の果樹（柿・栗・ドングリなど）は収穫済ですか？		（チェック欄が×の場合・・・） ●果樹はクマを寄せ付ける原因になります。実がなったら早めの収穫を！ 落下した果実を放置するとイノシシも誘引します。確実に処分してください！ ●収穫した果実は屋外に放置せず、屋内に保管を！（戸締りを確実に！） ●やむを得ずすぐに果実の収穫ができない場合は、樹木にトタン板を巻くなど、クマが登りにくいような対策を！
5	集落内に収穫しない不要果樹はありますか？		（チェック欄が○の場合・・・） ●クマやイノシシを寄せ付ける原因になります。早めの伐採を！ → <u>市の「不要果樹等伐採事業補助金」が活用できます。</u> <u>（別紙「ご活用ください！市の補助制度&防災情報」を参照ください）</u> ●所有者が不明で伐採できない果樹は、トタン板を巻くなど、クマが登りにくいような対策を！（可能であれば果実の収穫を）
6	クマ・イノシシの出没情報を日頃からチェックしていますか？		（チェック欄が×の場合・・・） ●市内のクマやイノシシの出没状況を把握することが被害防止にも繋がります。 → <u>市の「ながおかDメールプラス」に登録すると最新の出没情報が配信されます。</u> <u>（別紙「ご活用ください！市の補助制度&防災情報」を参照ください）</u>
7	クマ・イノシシに遭遇した場合の身の守り方を知っていますか？		（チェック欄が×の場合・・・） ●正しい対処・防御方法を知ることによって危険を回避し、万一の場合でも被害を最小限にすることができます。皆さんで共有してください！ → <u>別紙「ご活用ください！市の補助制度&防災情報」を参照ください</u>